

# JX金属株式会社 貸借対照表

(2020年3月31日現在)

(単位：百万円)

資 産 の 部		負 債 及 び 純 資 産 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
(資産の部)	(543,743)	(負債の部)	(204,316)
<b>流 動 資 産</b>	185,411	<b>流 動 負 債</b>	171,052
現金及び預金	123	買掛金	21,358
受取手形	2,152	短期借入金	123,328
売掛金	37,633	リース債務	54
商品及び製品	8,944	未払金	4,769
原材料及び貯蔵品	52,542	未払費用	4,895
仕掛品	29,202	預り金	8,410
前払費用	1,403	賞与引当金	2,041
前払費用	863	環境対策引当金	2,578
短期貸付金	24,199	遊休設備撤去工事引当金	578
未収入金	24,695	デリバティブ債務	2,523
デリバティブ債権	2,953	その他の流動負債	512
その他の流動資産	754		
貸倒引当金	△ 56		
<b>固 定 資 産</b>	358,331	<b>固 定 負 債</b>	33,263
有形固定資産	86,630	長期借入金	240
建物	22,475	リース債務	173
構築物	5,120	退職給付引当金	22,789
機械及び装置	23,850	株式報酬引当金	129
車両運搬具	72	環境対策引当金	6,858
工具、器具及び備品	1,867	事業撤退損失引当金	2,048
土地	15,755	資産除去債務	97
リース資産	213	その他の固定負債	926
建設仮勘定	17,273		
無形固定資産	3,041	(純資産の部)	(339,427)
特許権	26	<b>株 主 資 本</b>	344,166
借地権	152	資本金	75,000
ソフトウェア	2,657	資本剰余金	116,139
その他の無形固定資産	205	資本準備金	60,000
投資その他の資産	268,659	その他資本剰余金	56,139
投資有価証券	2,153	利益剰余金	153,027
関係会社株式	182,005	その他利益剰余金	153,027
出資金	144	固定資産圧縮積立金	181
関係会社出資金	13,813	繰越利益剰余金	152,845
長期貸付金	57,667	<b>評 価 ・ 換 算 差 額 等</b>	△ 4,739
長期前払費用	10	その他有価証券評価差額金	△ 44
繰延税金資産	11,176	繰延ヘッジ損益	431
その他の投資	1,687	土地再評価差額金	△ 5,125
貸倒引当金	0		
<b>合 計</b>	543,743	<b>合 計</b>	543,743

(記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しています。)

# JX金属株式会社 損益計算書

〔 2019年4月1日から  
2020年3月31日まで 〕

(単位:百万円)

科 目	金 額
売上高	252,672
売上原価	214,063
売上総利益	38,609
販売費及び一般管理費	29,822
営業利益	8,787
営業外収益	34,480
受取利息	4,356
受取配当金	25,256
貸入	2,979
その他	1,887
営業外費用	8,713
支払利息	2,052
為替差損	1,075
賃貸費用	2,766
環境管理費	2,263
その他	555
経常利益	34,554
特別利益	1,849
関係会社株式売却益	1,252
投資有価証券売却益	433
固定資産売却益	142
その他	21
特別損失	2,688
減損損失	1,319
固定資産除却損	706
関係会社出資金評価損	454
遊休設備撤去工事引当金繰入額	186
その他	22
税引前当期純利益	33,715
法人税、住民税及び事業税	138
法人税等調整額	5,907
当期純利益	27,668

## JX金属株式会社 株主資本等変動計算書

〔 2019年4月1日から  
2020年3月31日まで 〕

(単位:百万円)

	株主資本							株主資本 合計
	資本金	資本剰余金			利益剰余金			
		資本 準備金	その他 資本剰余金	資本 剰余金 合計	その他利益剰余金 固定資産 圧縮積立金	繰越利益 剰余金	利益 剰余金 合計	
2019年4月1日残高	75,000	60,000	56,139	116,139	187	130,242	130,430	321,570
当期変動額								
剰余金の配当						△ 5,000	△ 5,000	△ 5,000
固定資産圧縮積立金の取崩					△ 6	6	-	-
当期純利益						27,668	27,668	27,668
土地再評価差額金の取崩						△ 71	△ 71	△ 71
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)							-	-
当期変動額の合計	-	-	-	-	△ 6	22,603	22,596	22,596
2020年3月31日残高	75,000	60,000	56,139	116,139	181	152,845	153,027	344,166

(単位:百万円)

	評価・換算差額等				純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ 損益	土地再評価 差額金	評価・換算 差額等合計	
2019年4月1日残高	△ 20	△ 948	△ 5,197	△ 6,167	315,403
当期変動額					
剰余金の配当				-	△ 5,000
固定資産圧縮積立金の取崩				-	-
当期純利益				-	27,668
土地再評価差額金の取崩				-	△ 71
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△ 24	1,380	71	1,427	1,427
当期変動額の合計	△ 24	1,380	71	1,427	24,024
2020年3月31日残高	△ 44	431	△ 5,125	△ 4,739	339,427

(記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しています。)

## 個別注記表

### 1. 重要な会計方針

#### (1) 有価証券の評価基準及び評価方法

子会社株式及び関連会社株式	……………	移動平均法による原価法
その他有価証券		
時価のないもの	……………	移動平均法による原価法

#### (2) デリバティブの評価基準及び評価方法

デリバティブ	……………	時価法
--------	-------	-----

#### (3) 棚卸資産の評価基準及び評価方法

評価基準は収益性の低下による簿価切下げの方法、評価方法は以下の方法によっています。

商品及び製品・原材料・仕掛品	……………	先入先出法
貯蔵品のうち重要資材	……………	移動平均法
貯蔵品のうち重要資材を除く一般資材	……………	最終仕入原価法

#### (4) 固定資産の減価償却方法

有形固定資産	……………	定額法
無形固定資産	……………	定額法

なお、ソフトウェアについては、社内における利用可能期間（5年）に基づいています。

#### リース資産

所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産

……… リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法を採用しています。

#### (5) 引当金の計上基準

貸倒引当金 …………… 債権の貸倒れによる損失に備えるため、一般債権については貸倒実績率により、貸倒懸念債権等特定の債権については個別に回収可能性を勘案し、回収不能見込額を計上しています。

賞与引当金 …………… 従業員に対して支給する賞与の支出に充てるため、支給見込額に基づき計上しています。

退職給付引当金 …………… 従業員の退職給付に備えるため、当期末における退職給付債務及び年金資産の見込額に基づき計上しています。

##### ①退職給付見込額の期間帰属方法

退職給付債務の算定にあたり、退職給付見込額を当事業年度末までの期間に帰属させる方法については、給付算定式基準によっています。

##### ②数理計算上の差異及び過去勤務費用の費用処理方法

数理計算上の差異及び過去勤務費用は、発生年度に全額を費用処理しています。

株式報酬引当金 …………… 役員報酬 BIP(Board Incentive Plan)信託による当社の親会社である J X T Gホールディングス社株式の交付に備えるため、株式報酬支給内規に基づき、取締役及び執行役員に割り

当てられたポイントに応じた株式の支給見込額を計上しています。

環境対策引当金 …………… 過去の操業に起因する環境対策工事の支出に充てるため、今後発生すると見込まれる損失について合理的に見積もられる金額を計上しています。

遊休設備撤去工事引当金 …… 既に遊休となっている設備の撤去工事の支出に充てるため、今後発生すると見込まれる損失について合理的に見積もられる金額を計上しています。

事業撤退損失引当金 …………… 事業撤退による損失に備えるため、損失見込相当額を計上しています。

#### (6) その他計算書類作成のための基本となる重要な事項

ヘッジ会計の方法 …………… 原則として繰延ヘッジ処理によっています。ただし、振当処理の要件を満たす為替予約取引については、振当処理によっています。

消費税等の会計処理方法 …… 消費税及び地方消費税の会計処理方法は、税抜方式によっています。

連結納税制度の適用 …………… 連結納税制度を適用しています。

## 2. 貸借対照表に関する注記

### (1) 担保に供している資産及び担保に係る債務

有形固定資産(注 1) 31,007 百万円

関係会社株式(注 2) 18,103 百万円

(注 1)工場財団を組成し、根抵当権 1 百万円の担保に供しています。

(注 2)関係会社の借入金 25,564 百万円の担保に供しています。

(2) 有形固定資産の減価償却累計額 …………… 152,421 百万円

### (3) 保証債務等

以下の会社等の銀行借入債務、取引債務に対し債務保証、保証予約及び再保証を行っています。

会社名	金額
パンパシフィック・銅(株)	258,791 百万円
日比共同製錬(株)	17,000 百万円
J X金属プレシジョンテクノロジー(株)	3,529 百万円
JECO 2 Ltd.	2,710 百万円
その他	9,901 百万円
計	291,932 百万円

(4) 関係会社に対する金銭債権及び金銭債務

短期金銭債権	68,901 百万円
長期金銭債権	57,516 百万円
短期金銭債務	12,993 百万円
長期金銭債務	5 百万円

(5) 土地の再評価

土地の再評価に関する法律に基づき、事業用土地の再評価を実施しており、再評価差額を土地再評価差額金として純資産の部に計上しています。

再評価実施日 2000年3月31日

再評価の方法 土地の再評価に関する法律施行令第2条第4号に定める路線価に基づいて、奥行価格補正等の合理的な調整を行って算定しています。

(6) 圧縮記帳に関する注記

①国庫補助金等の受入に伴い、有形固定資産の取得価額から控除している圧縮記帳累計額は次のとおりです。

建物	43 百万円
構築物	37 百万円
機械及び装置	870 百万円
その他	0 百万円

②当事業年度において、国庫補助金等の受入に伴い、有形固定資産の取得価額から控除している圧縮記帳額はありませぬ。

3. 損益計算書に関する注記

(1) 関係会社との取引高

売上高	177,683 百万円
仕入高	113,893 百万円
一般管理費	2,184 百万円
営業取引以外の取引による取引高	39,993 百万円

(2) 売上原価には、棚卸資産の収益性の低下による簿価切下額△2,208百万円が含まれています。

4. 株主資本等変動計算書に関する注記

(1) 当事業年度の末日における発行済株式の総数 …………… 普通株式 928,463,102 株

(2) 剰余金の配当に関する事項

配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額	1株当たりの配当額	基準日	効力発生日
2019年6月26日 定時株主総会	普通株式	5,000 百万円	5円38銭	2019年 3月31日	2019年 6月26日

## 5. 税効果会計に関する注記

### (1) 繰延税金資産及び繰延税金負債の発生の主な原因別内訳

繰延税金資産	
税務上の繰越欠損金	1,846 百万円
有価証券等評価損	49,402 百万円
退職給付引当金	7,052 百万円
土地の減損等評価減	3,573 百万円
環境対策引当金	2,889 百万円
固定資産償却超過額	2,404 百万円
事業撤退損失引当金	627 百万円
賞与引当金	645 百万円
その他	1,765 百万円
繰延税金資産小計	70,208 百万円
評価性引当額	△57,255 百万円
繰延税金資産合計	12,952 百万円
繰延税金負債	
土地の評価差額	△1,268 百万円
繰延ヘッジ損益	△189 百万円
その他	△318 百万円
繰延税金負債合計	△1,776 百万円
繰延税金資産の純額	11,176 百万円

## 6. 金融商品に関する注記

### (1) 金融商品の状況に関する事項

当社は、事業運営に係る資金調達を J X ファイナンス株式会社、JX Nippon Finance Netherlands B.V. 及び金融機関等からの借入によっており、資金運用については短期的な預金等に限定しています。

受取手形及び売掛金に係る顧客の信用リスクについては、与信管理規程に沿ってリスク低減を図っています。また、投資有価証券は非上場株式であり、定期的に発行会社の財務状態の把握を行っています。

借入金のうち短期借入金は主として運転資金に係るものであり、長期借入金は設備投資及び投融資等に係るものです。なお、デリバティブ取引はリスクヘッジを目的としており、内部管理規程に従い、実需の範囲内で行うこととしています。

### (2) 金融商品の時価等に関する事項

2020年3月31日における貸借対照表計上額、時価及びこれらの差額については次のとおりです。

(単位：百万円)

	貸借対照表 計上額 (*)	時価 (*)	差額
①現金及び預金	123	123	—
②受取手形及び売掛金	39,786	39,786	—
③短期貸付金	24,199	24,199	—
④子会社株式 (時価のあるもの)	34,460	23,774	△10,686
⑤関連会社株式 (時価のあるもの)	12,824	10,687	△2,137
資産合計	111,392	98,569	△12,823
⑥買掛金	21,358	21,358	—
⑦短期借入金 (1年内返済予定分を除く)	122,968	122,968	—
⑧長期借入金 (1年内返済予定分を含む)	600	603	3
負債合計	144,926	144,929	3
⑨デリバティブ取引 (*)			
ヘッジ会計が適用されていないもの	(190)	(190)	—
ヘッジ会計が適用されているもの	620	630	9

(\*) デリバティブ取引によって生じた正味の債権・債務は純額で表示しており、合計で正味の債務となる項目については、( ) で表示しています。

(注) 金融商品の時価の算定方法並びに有価証券及びデリバティブ取引に関する事項

①現金及び預金、②受取手形及び売掛金、③短期貸付金

これらは短期間で決済されるため、時価は帳簿価額にほぼ等しいことから、当該帳簿価額によっています。

④子会社株式、⑤関連会社株式

これらの時価について、株式は取引所の価格によっています。

⑥買掛金、⑦短期借入金

これらは短期間で決済されるため、時価は帳簿価額にほぼ等しいことから、当該帳簿価額によっています。

⑧長期借入金

長期借入金の時価については、元利金の合計額を同様の新規借入を行った場合に想定される利率で割り引いて算定する方法によっています。

⑨デリバティブ取引

ヘッジ会計が適用されていないデリバティブ取引について、取引の対象物の種類ごとの決算日における契約額、時価及び評価損益並びに当該時価の算定方法は次のとおりです。

(単位：百万円)

区分	デリバティブ取引の種類等	契約額等	時価	評価損益	当該時価の算定方法
市場取引以外の取引	為替予約 売建	31,952	32,143	△191	為替相場に基づく
	為替予約 買建	51	51	0	為替相場に基づく
合計		32,003	32,194	△190	

ヘッジ会計が適用されているデリバティブ取引について、ヘッジ会計ごとの決算日における契約額等は次のとおりです。



(単位：百万円)

ヘッジ会計の方法	デリバティブ取引の種類等	主なヘッジ対象	契約額等	時価	当該時価の算定方法
原則的処理方法	商品先渡 売建	原材料の 仕入	41,246	563	市場価格 に基づく
	為替予約 売建	商品及び 製品の輸出	6,575	56	為替相場 に基づく
為替予約の 振当処理	為替予約 売建	売掛金及び 短期貸付金	801	△3	為替相場 に基づく
	為替予約 買建	短期借入金	1,127	13	為替相場 に基づく
合計			49,750	630	

(注) 非上場の株式(貸借対照表計上額 136,873 百万円)は、市場価格がなく、かつ将来キャッシュ・フローを見積もることなどができず、時価を把握することが極めて困難であると認められるため、記載していません。

また、長期貸付金(貸借対照表計上額 57,667 百万円)は、返済時期が合理的に見込めないため将来キャッシュ・フローを見積もることなどができず、時価を把握することが極めて困難であると認められるため、記載していません。

## 7. 関連当事者との取引に関する注記

### (1) 親会社

(単位：百万円)

会社等の名称	議決権等の 所有(被所有) 割合	関連当事者との 関係	取引の 内容	取引 金額	科目	期末 残高
J X T G ホールディングス(株)	被所有 直接 100%	経営管理 役員の兼任	債務被保証 (注 1)	63,777	—	—

取引方針及び取引条件の決定方針等

(注 1) 当社の借入債務に対し、J X T Gホールディングス株式会社が債務保証を行っているものであり、保証料の支払は行っていません。

### (2) 子会社等

(単位：百万円)

会社等の名称	議決権等の 所有(被所有) 割合	関連当事者 との関係	取引の内容	取引 金額	科目	期末 残高
パンパシフィック・ カッパー(株)	所有 直接 67.8%	原材料等の 販売 原材料の仕入 資金の貸付 利息の受取 債務保証 役員の兼任	原材料等の 販売(注 1)	89,437	売掛金	7,923
			原材料の 仕入(注 2)	21,097	買掛金	1,979
			債務保証 (注 3)	258,791	—	—
			資金の貸付 (注 4)	—	短期 貸付金	24,091

J X金属商事(株)	所有 直接 100%	原材料の仕入 原材料、商品及 び製品の販売 債務保証 役員の兼任	原材料の 仕入 (注 5)	52,980	買掛金	4,399
			原材料の 販売 (注 6)	20,408	売掛金	5,660
日比共同製錬(株)	所有 間接 63.5%	債務保証 役員の兼任	債務保証 (注 7)	17,000	—	—
MLCC Finance Netherlands B.V.	所有 間接 77.4%	資金の貸付 利息の受取	資金の貸付	—	長期 貸付金	57,516
			利息の受取 (注 8)	3,470	未収入金	12,349
台湾日鉾金属股份 有限公司	所有 直接 83.7% 間接 16.3%	商品及び製品 の販売 債務保証 役員の兼任	商品及び製 品の販売 (注 9)	24,745	売掛金	6,934
H.C. Starck Tantalum and Niobium GmbH	所有 直接 100%	担保提供 役員の兼任	借入金に対 する担保提 供 (注 10)	18,103	—	—

(注)「役員の兼任」は、当社の取締役、監査役のほか、執行役員又は従業員が当該会社の役員を兼任している場合を含んでいます。

#### 取引方針及び取引条件の決定方針等

- (注 1) パンパシフィック・銅株式会社への原材料等の販売については、市場価格を勘案して一般的取引条件と同様に決定しています。なお、期末残高には消費税等を含めています。
- (注 2) パンパシフィック・銅株式会社からの原材料の仕入については、市場価格を勘案して一般的取引条件と同様に決定しています。なお、期末残高には消費税等を含めています。
- (注 3) パンパシフィック・銅株式会社の借入債務、取引債務に対し債務保証を行っているもの及び納税債務に関して金融機関が行っている履行保証に対し再保証を行っているものです。なお、取引債務に対する債務保証に係る保証料は受領していません。
- (注 4) パンパシフィック・銅株式会社に対する資金の貸付は、市場金利を勘案して決定しています。
- (注 5) J X金属商事株式会社からの原材料の仕入については、市場価格を勘案して一般的取引条件と同様に決定しています。なお、期末残高には消費税等を含めています。
- (注 6) J X金属商事株式会社への原材料の販売については、市場価格を勘案して一般的取引条件と同様に決定しています。なお、期末残高には消費税等を含めています。
- (注 7) 日比共同製錬株式会社の借入債務に対し債務保証を行っているものであり、保証料は受領していません。
- (注 8) MLCC Finance Netherlands B.V.に対する資金の貸付は、市場金利を勘案して決定しています。
- (注 9) 台湾日鉾金属股份有限公司への商品及び製品の販売については、市場価格を勘案して一般的取引条件と同様に決定しています。
- (注 10) H.C. Starck Tantalum and Niobium GmbH における借入金 25,564 百万円に対し、同社株式 18,103 百万円を担保提供しています。なお、担保提供料は受領していません。

(3) 兄弟会社等

(単位：百万円)

会社等の名称	議決権等の 所有(被所有) 割合	関連当事者 との関係	取引の内容	取引 金額	科目	期末 残高
J Xファイナンス(株)	なし	資金の借入 役員の兼任	資金の返済 (注 1)	2,513	短期借入金	59,790
JX Nippon Finance Netherlands B.V.	なし	資金の借入	資金の借入 利息の支払 (注 2)	2,097 1,993	短期借入金	63,177

取引方針及び取引条件の決定方針等

(注 1) グループ資金取引として、J Xファイナンス株式会社より必要な事業資金を借り入れる一方、余裕資金が発生した場合は借入金の返済または貸付を行っています。資金の返済における取引金額は、借入と返済をネット表示しています。

(注 2) 米ドルのグループ資金取引として、JX Nippon Finance Netherlands B.V.より必要な事業資金を借り入れる一方、余裕資金が発生した場合は、日々これを借入金の返済に充当しています。よって取引金額については、借入と返済をネット表示しています。借入利率については、市場金利を勘案して合理的に決定しています。

8. 1株当たり情報に関する注記

1株当たり純資産額	365円57銭
1株当たり当期純利益	29円80銭

9. 重要な後発事象に関する注記

該当事項はありません。